

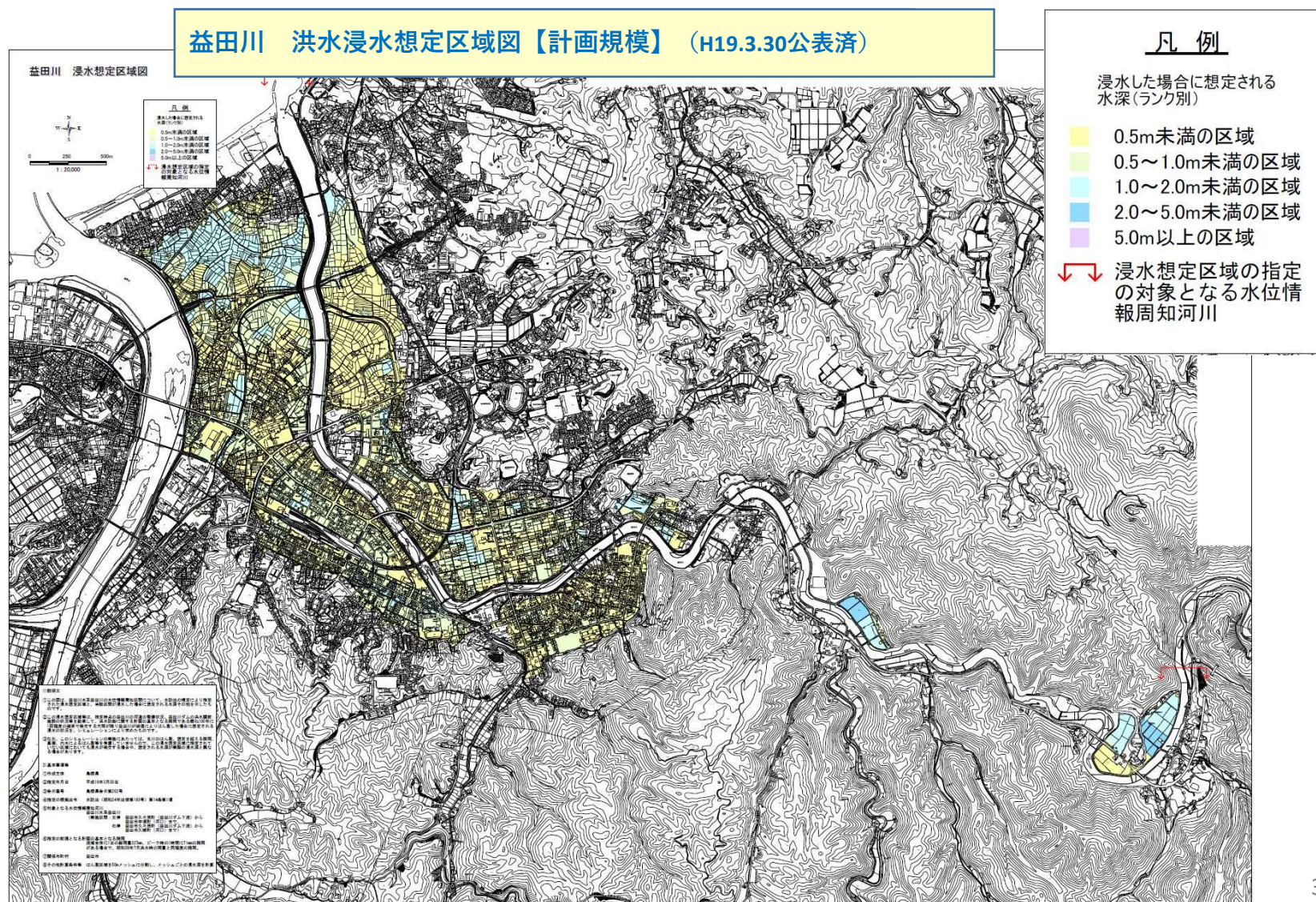
益田圏域
県管理河川に関する減災対策協議会
(フォローアップ)

- ・平成29年度の実施状況
- ・平成30年度の実施予定

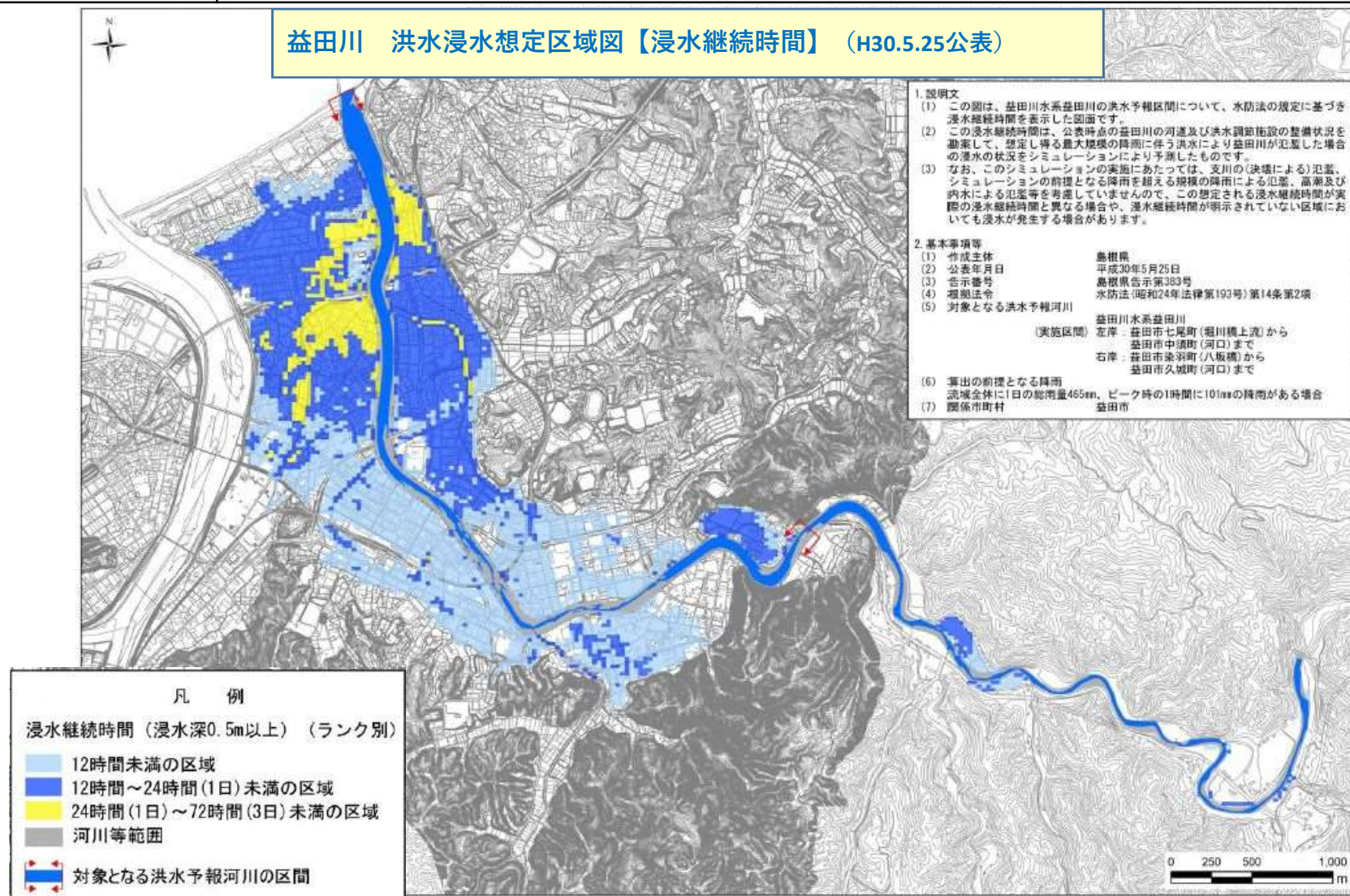
項 目	1. 想定最大規模降雨に係る洪水浸水想定区域図の作成	
内 容	H29年度取組	益田川・津和野川・高津川の洪水浸水想定区域図の作成
	H30年度予定	益田川・津和野川・高津川を公表し、益田市、津和野町、吉賀町へ提供
取組機関	島根県	



項 目	1. 想定最大規模降雨に係る洪水浸水想定区域図の作成	
内 容	H29年度取組	益田川・津和野川・高津川の洪水浸水想定区域図の作成
	H30年度予定	益田川・津和野川・高津川を公表し、益田市、津和野町、吉賀町へ提供
取組機関	島根県	

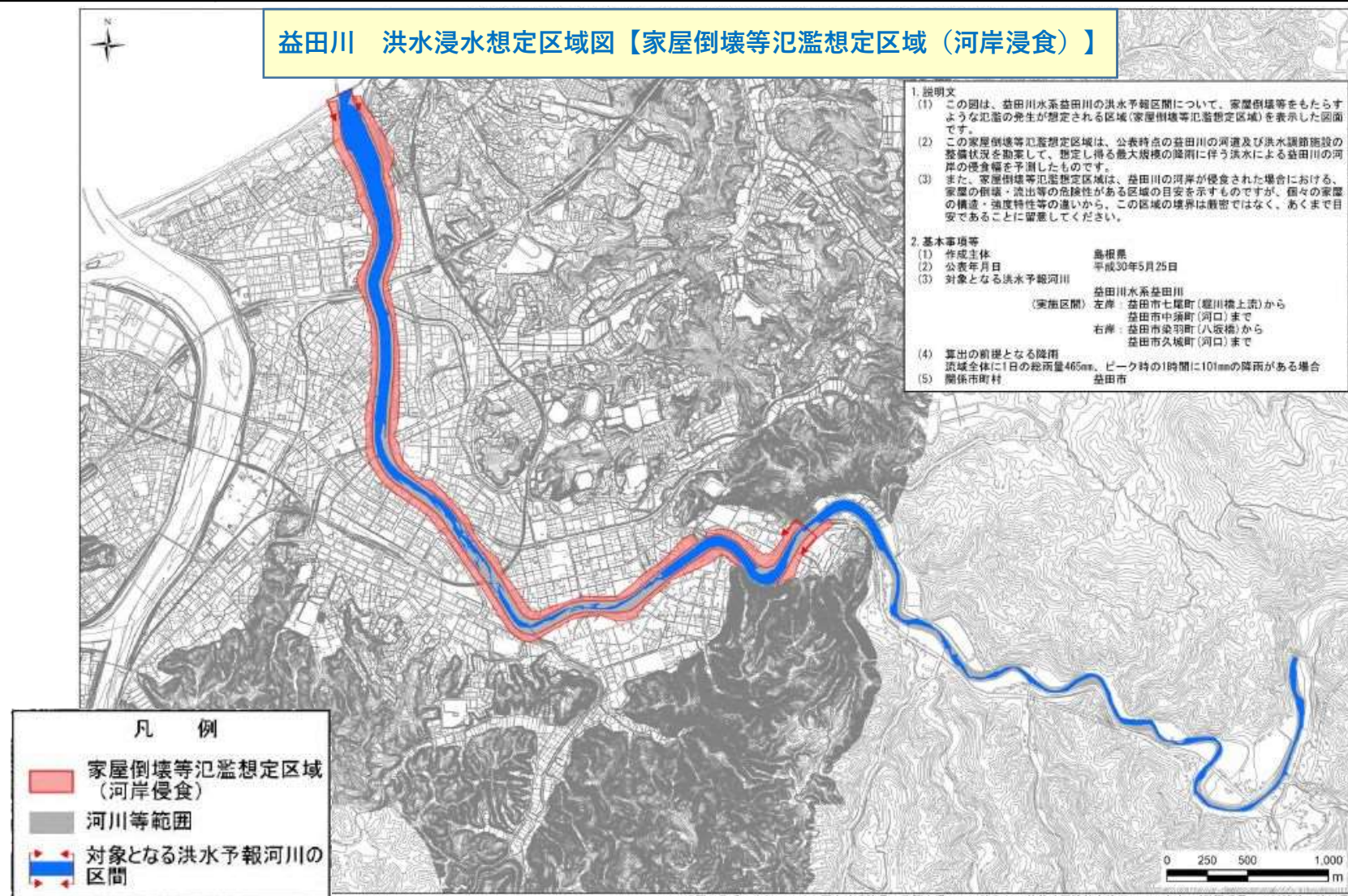


項 目	1. 想定最大規模降雨に係る洪水浸水想定区域図の作成	
内 容	H29年度取組	益田川・津和野川・高津川の洪水浸水想定区域図の作成
	H30年度予定	益田川・津和野川・高津川を公表し、益田市、津和野町、吉賀町へ提供
取組機関	島根県	



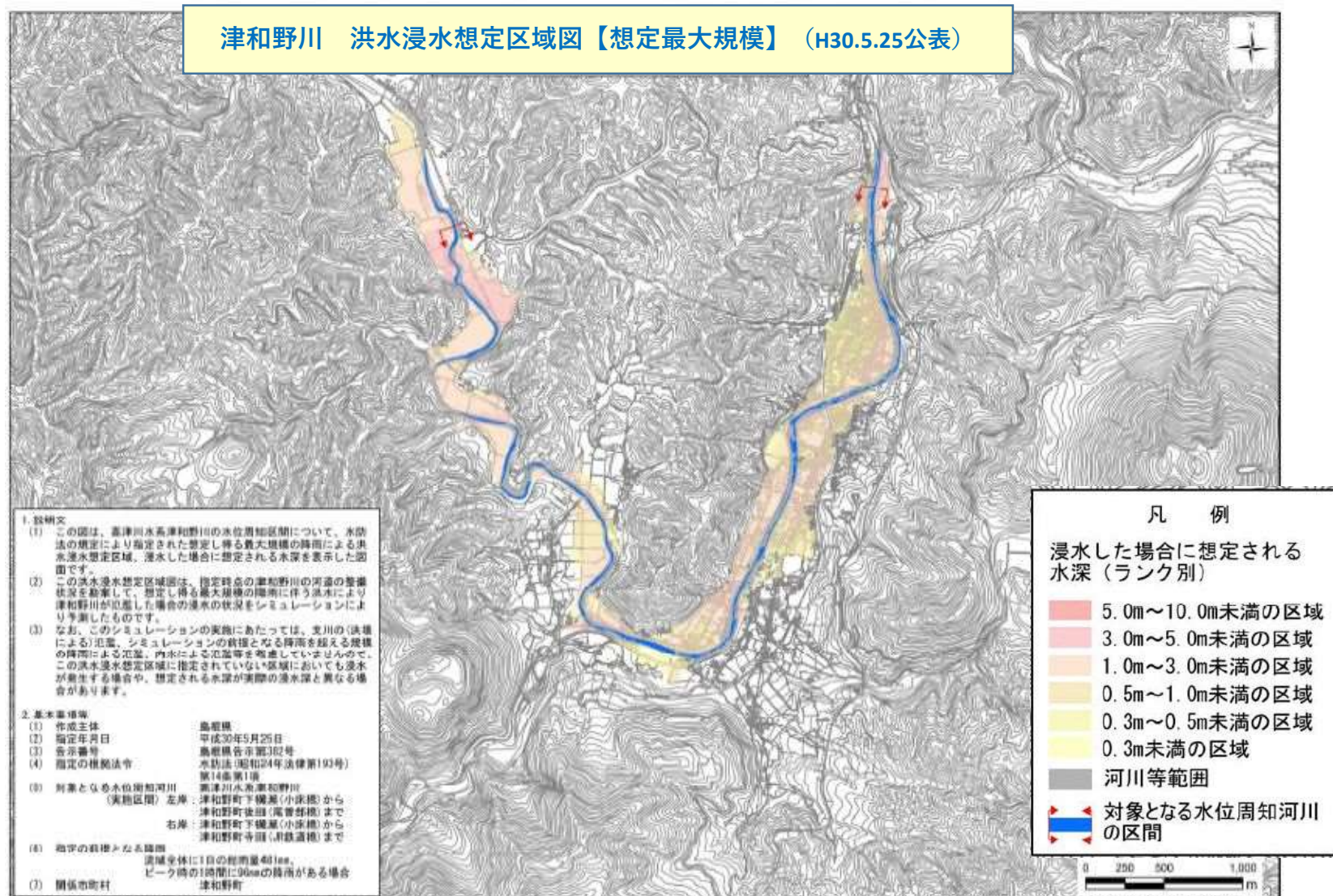
この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基礎地図情報を使用しています。（承認番号 平30情使、第94号）
この地図は、益田市長の承認を得て益田市都市計画図1/2,500の測量成果を使用し調製したものです。（承認番号 平成30年3月13日 益建第 第165号）

項 目	1. 想定最大規模降雨に係る洪水浸水想定区域図の作成	
内 容	H29年度取組	益田川・津和野川・高津川の洪水浸水想定区域図の作成
	H30年度予定	益田川・津和野川・高津川を公表し、益田市、津和野町、吉賀町へ提供
取組機関	島根県	

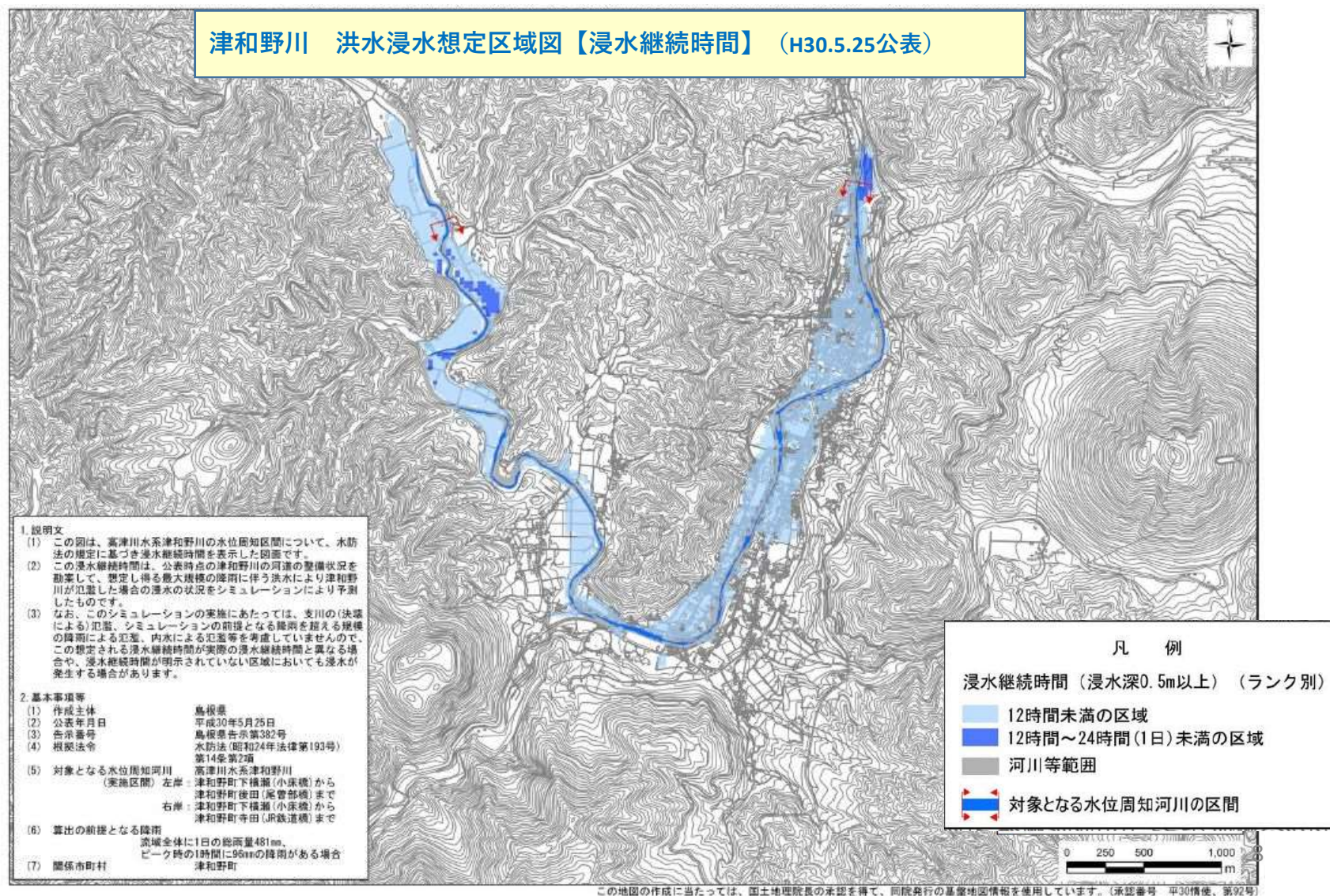


この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、両院発行の基盤地図情報を使用しています。(承認番号 平30情使、第94号)
 この地図は、益田市長の承認を得て益田市都市計画図1/2,500の測量成果を使用し調製したものです。(承認番号 平成30年3月13日 益建第 165号)

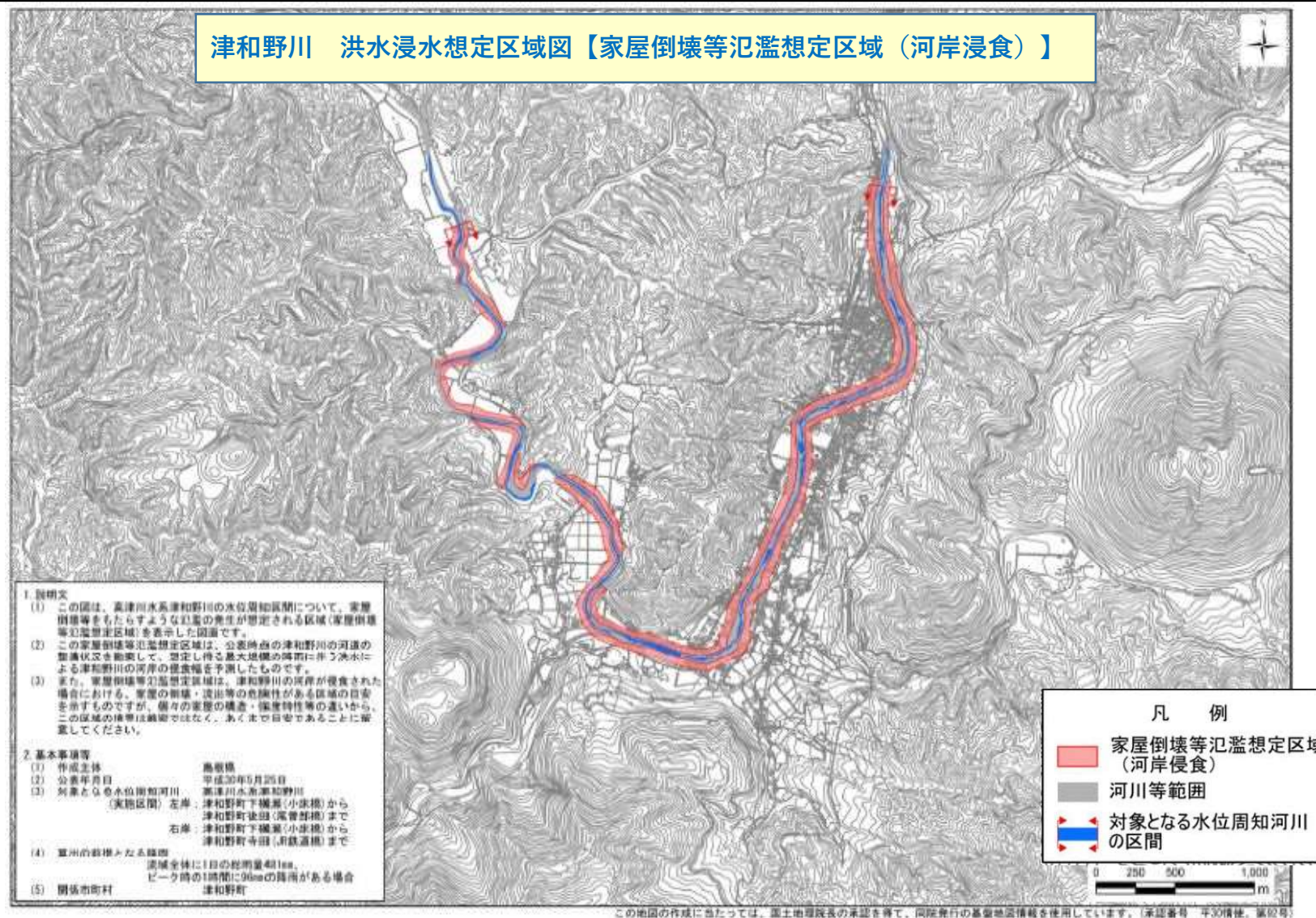
項 目	1. 想定最大規模降雨に係る洪水浸水想定区域図の作成	
内 容	H29年度取組	益田川・津和野川・高津川の洪水浸水想定区域図の作成
	H30年度予定	益田川・津和野川・高津川を公表し、益田市、津和野町、吉賀町へ提供
取組機関	島根県	



項 目	1. 想定最大規模降雨に係る洪水浸水想定区域図の作成	
内 容	H29年度取組	益田川・津和野川・高津川の洪水浸水想定区域図の作成
	H30年度予定	益田川・津和野川・高津川を公表し、益田市、津和野町、吉賀町へ提供
取組機関	島根県	

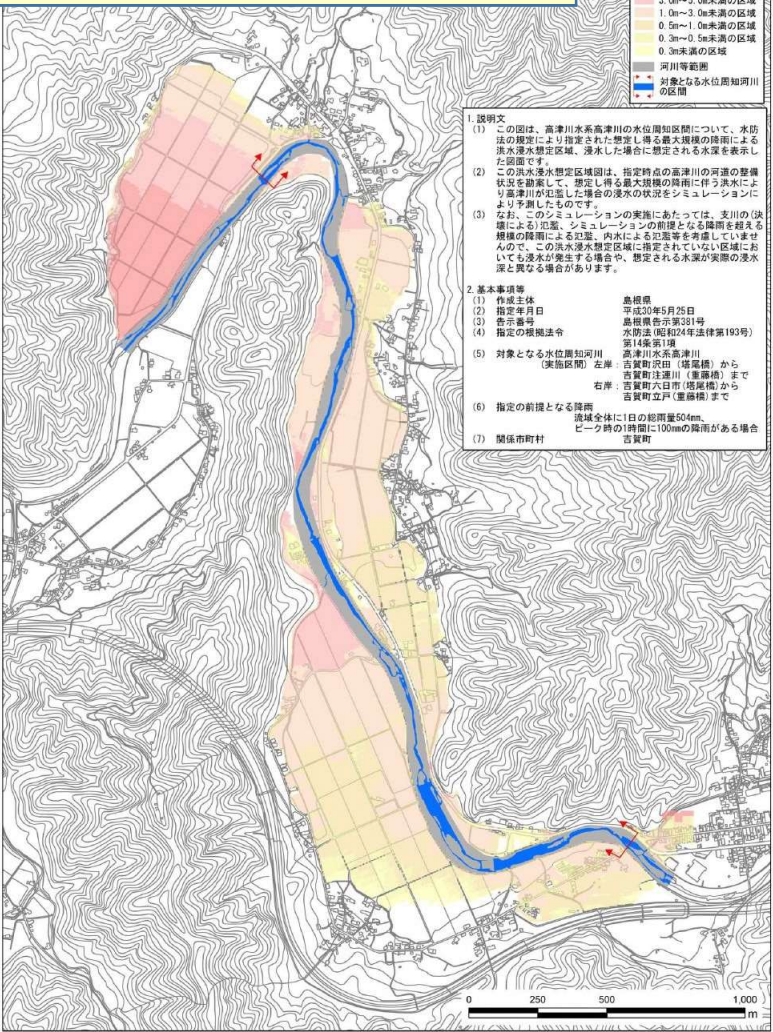


項 目	1. 想定最大規模降雨に係る洪水浸水想定区域図の作成	
内 容	H29年度取組	益田川・津和野川・高津川の洪水浸水想定区域図の作成
	H30年度予定	益田川・津和野川・高津川を公表し、益田市、津和野町、吉賀町へ提供
取組機関	島根県	



項 目	1. 想定最大規模降雨に係る洪水浸水想定区域図の作成	
内 容	H29年度取組	益田川・津和野川・高津川の洪水浸水想定区域図の作成
	H30年度予定	益田川・津和野川・高津川を公表し、益田市、津和野町、吉賀町へ提供
取組機関	島根県	

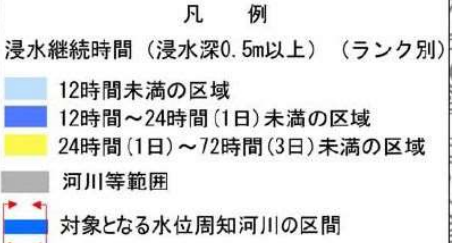
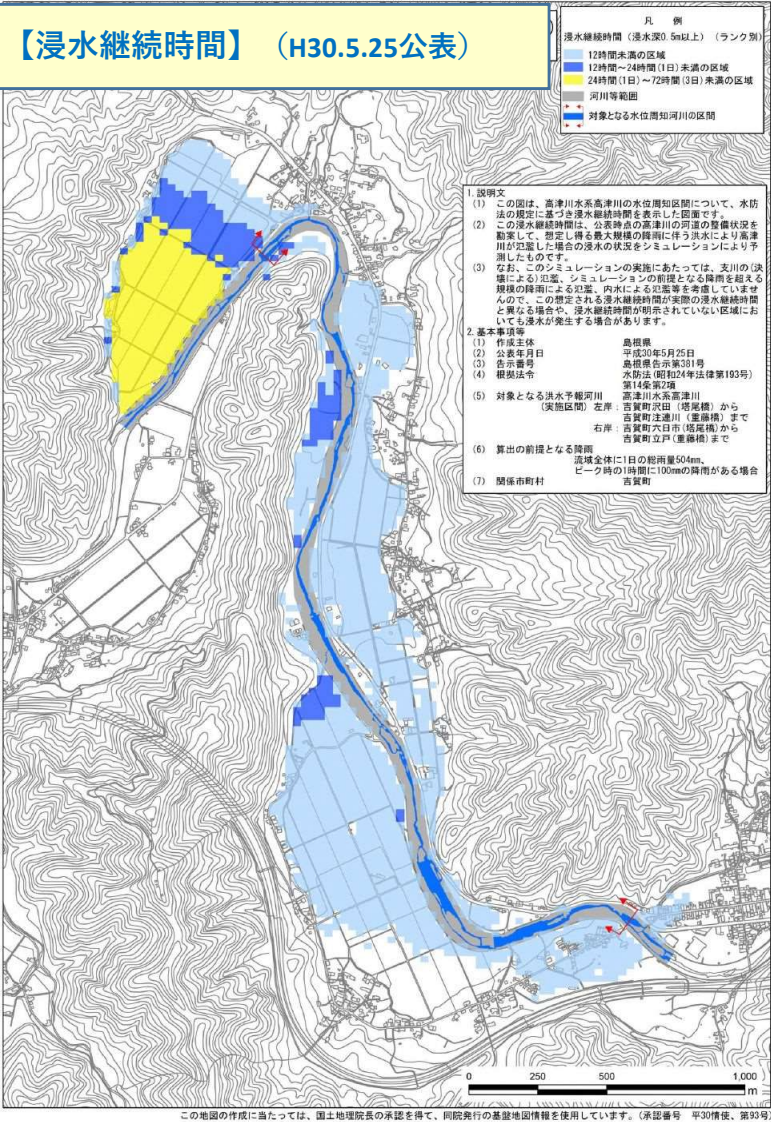
高津川 洪水浸水想定区域図【想定最大規模】（H30.5.25公表）



この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基礎地図情報を使用しています。（承認番号 平30情使、第93号）

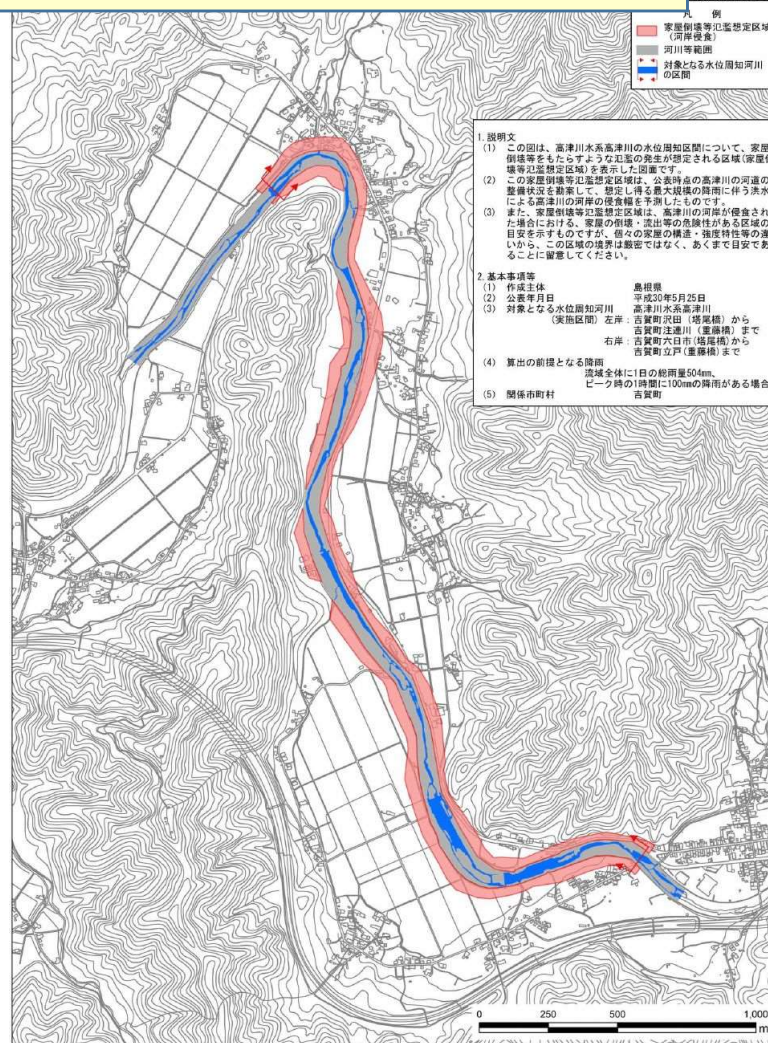
項 目	1. 想定最大規模降雨に係る洪水浸水想定区域図の作成	
内 容	H29年度取組	益田川・津和野川・高津川の洪水浸水想定区域図の作成
	H30年度予定	益田川・津和野川・高津川を公表し、益田市、津和野町、吉賀町へ提供
取組機関	島根県	

高津川 洪水浸水想定区域図【浸水継続時間】（H30.5.25公表）



項 目	1. 想定最大規模降雨に係る洪水浸水想定区域図の作成	
内 容	H29年度取組	益田川・津和野川・高津川の洪水浸水想定区域図の作成
	H30年度予定	益田川・津和野川・高津川を公表し、益田市、津和野町、吉賀町へ提供
取組機関	島根県	

高津川 洪水浸水想定区域図【家屋倒壊等氾濫想定区域（河岸浸食）】



この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基礎地図情報を使用しています。（承認番号 平30情使、第93号）

項 目	2. 水害ハザードマップの改良・周知	
内 容	H29年度取組	—
	H30年度予定	水害ハザードマップの見直し、ハザードマップポータルサイトへ登録し、住民へ広く周知予定（益田市、津和野町、吉賀町） 印刷物各戸配布予定（益田市）
取組機関	益田市、津和野町、吉賀町	

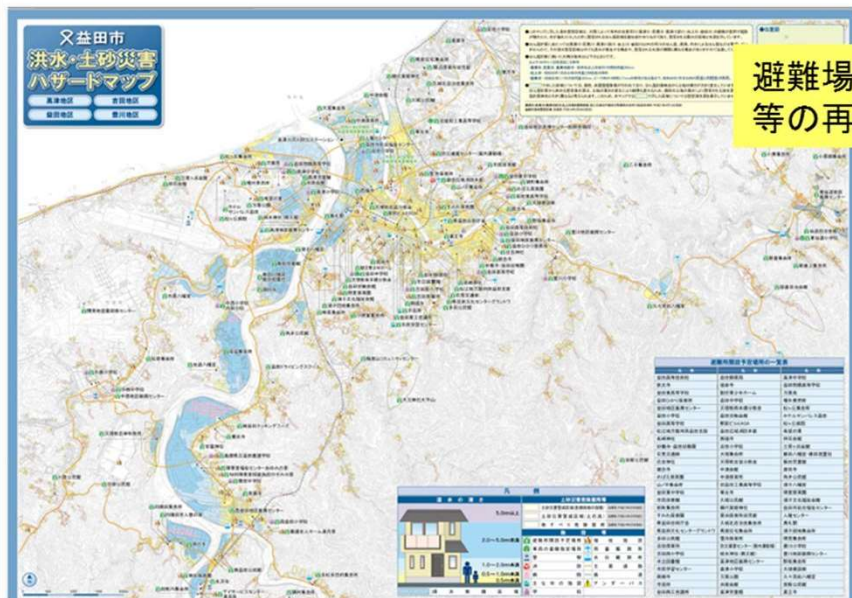
取組

- ・想定最大規模降雨に係る洪水浸水想定区域図を踏まえた水害ハザードマップに改良
- ・新たに作成する水害ハザードマップを広く住民等へ周知する
(住民への配布や国土交通省ハザードマップポータルサイトへの登録など)

現状

現状のハザードマップ

例) 益田川



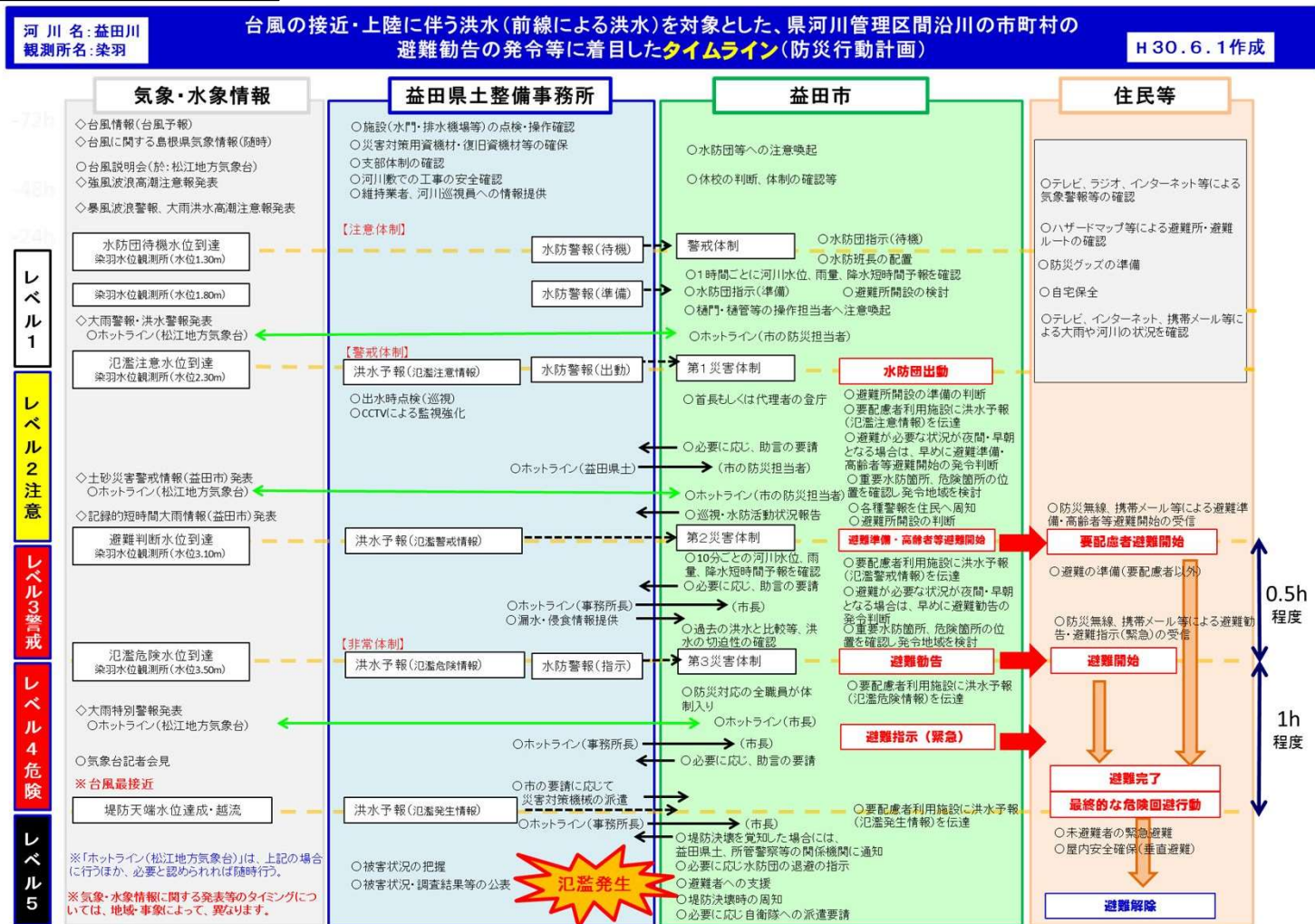
取組

- ・想定最大規模降雨のハザードマップ作成
- ・住民等への周知（配布、ポータルサイト登録）



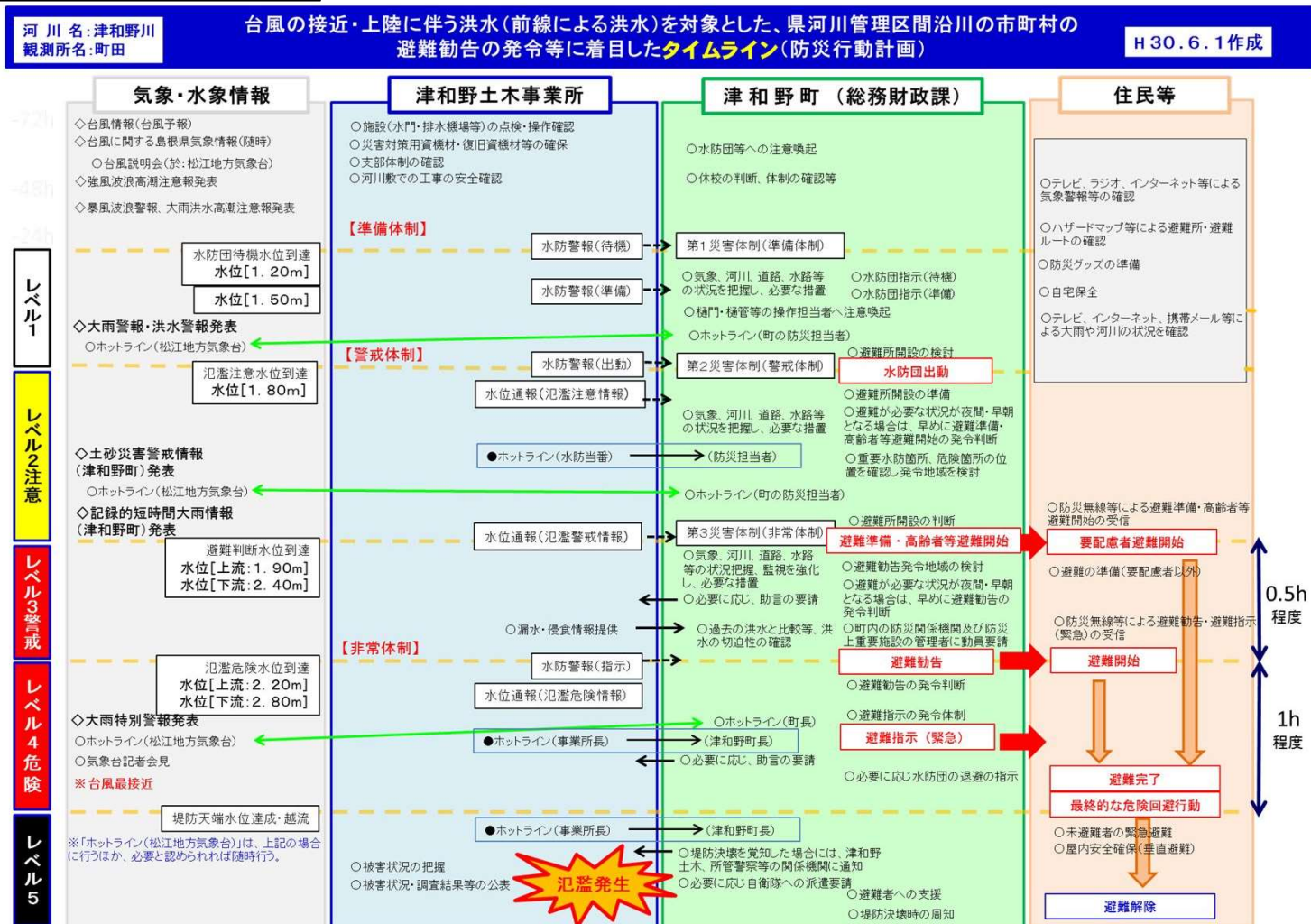
項 目	3. 避難勧告等の発令に着目した水害対応タイムラインの策定	
内 容	H29年度取組	洪水予報河川・水位周知河川で水害対応タイムラインを作成
	H30年度予定	出水期前に連絡調整会議を開催し、関係機関で水害対応タイムライン、チェックリスト等の情報を共有。 実洪水・情報伝達訓練を通じ必要に応じて見直し。
取組機関	協議会全体	

益田川 染羽観測所



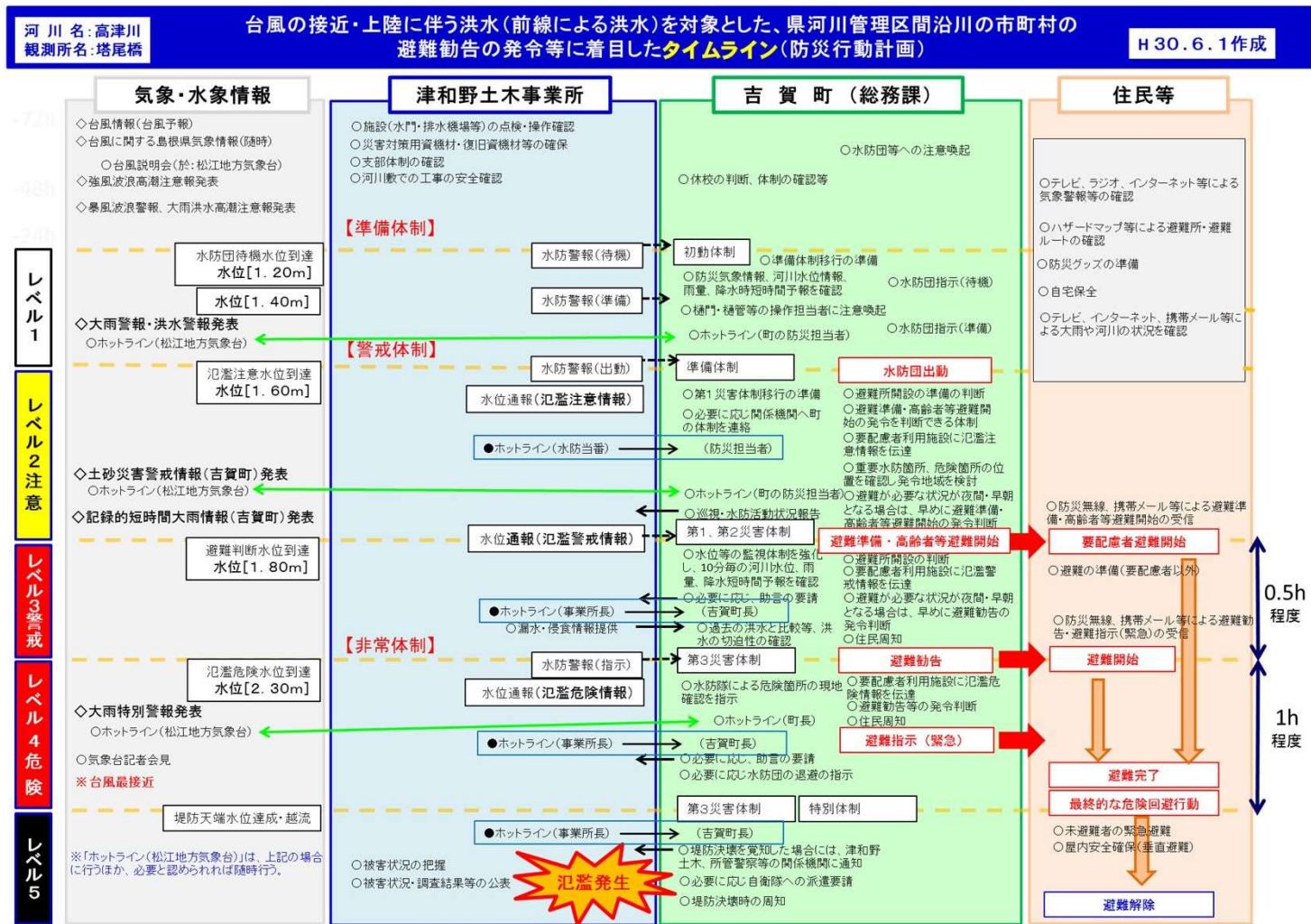
項目	3. 避難勧告等の発令に着目した水害対応タイムラインの策定	
内 容	H29年度取組	洪水予報河川・水位周知河川で水害対応タイムラインを作成
	H30年度予定	出水期前に連絡調整会議を開催し、関係機関で水害対応タイムライン、チェックリスト等の情報を共有。 実洪水・情報伝達訓練を通じ必要に応じて見直し。
取組機関	協議会全体	

津和野川 町田観測所



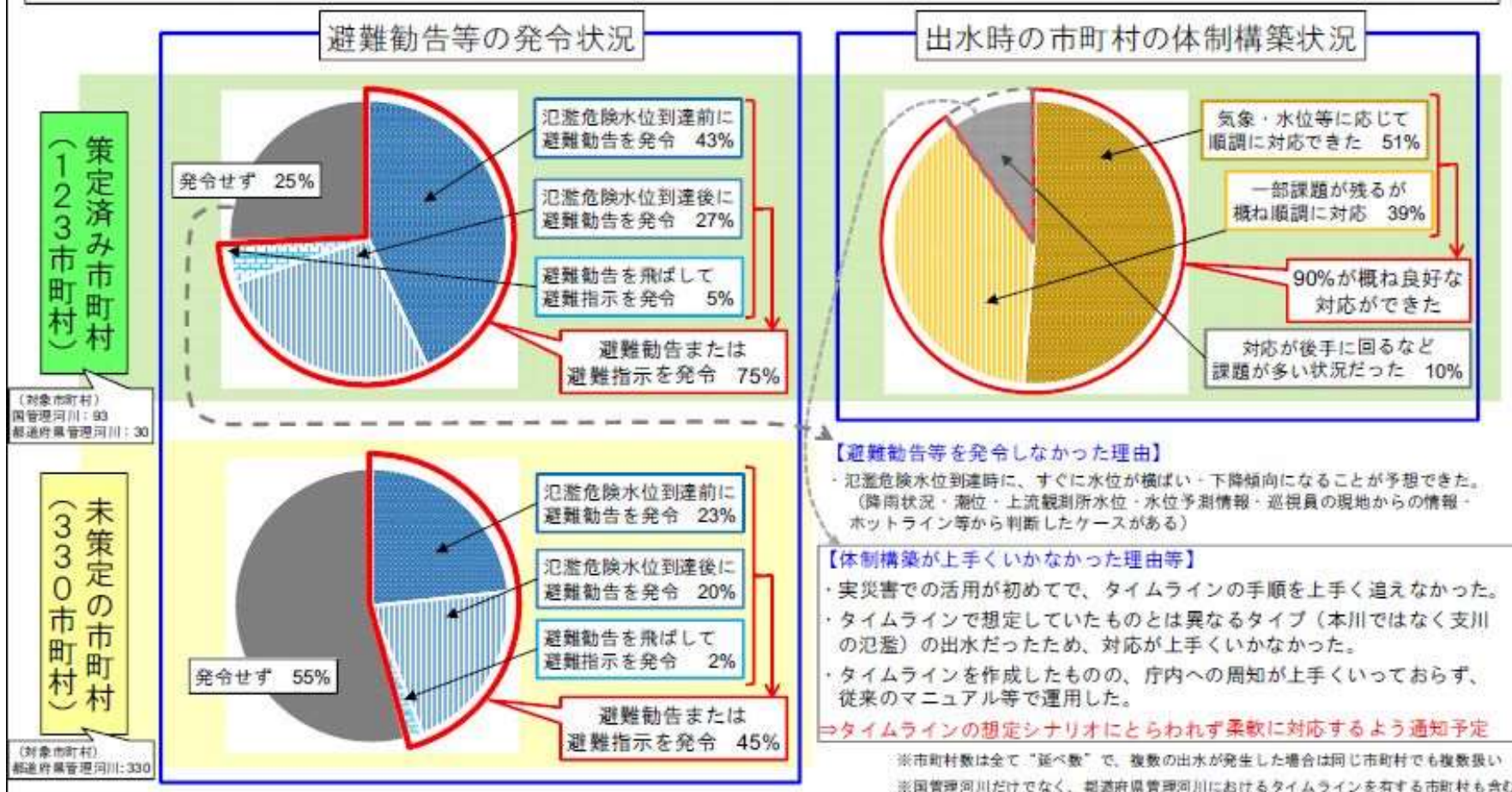
項目	3. 避難勧告等の発令に着目した水害対応タイムラインの策定	
内 容	H29年度取組	洪水予報河川・水位周知河川で水害対応タイムラインを作成
	H30年度予定	出水期前に連絡調整会議を開催し、関係機関で水害対応タイムライン、チェックリスト等の情報を共有。 実洪水・情報伝達訓練を通じ必要に応じて見直し。
取組機関	協議会全体	

高津川 塔尾橋観測所



水害対応タイムライン策定効果の検証

- 今年の出水で氾濫危険水位を超過した河川がある市町村(延べ451市町村)を対象に、タイムラインの策定状況と「避難勧告等の発令」及び「市町村の体制構築」がスムーズに行えたかどうか、聞き取り調査を実施
- タイムライン策定市町村では、迅速な避難情報の提供だけでなく、順調な体制構築・対応にも効果を発揮
- 今後、タイムラインの策定・活用を促すと共に、シナリオにとらわれない柔軟な対応ができるよう通知予定



項 目	4. 洪水時における河川管理者からの情報提供（ホットラインの定着）	
内 容	H29年度取組	情報伝達演習の実施【H29.4.28】
	H30年度予定	情報伝達演習においてホットラインを実施【H30.4.25】
取組機関	益田市、津和野町、吉賀町、島根県	

【他事務所での事例】

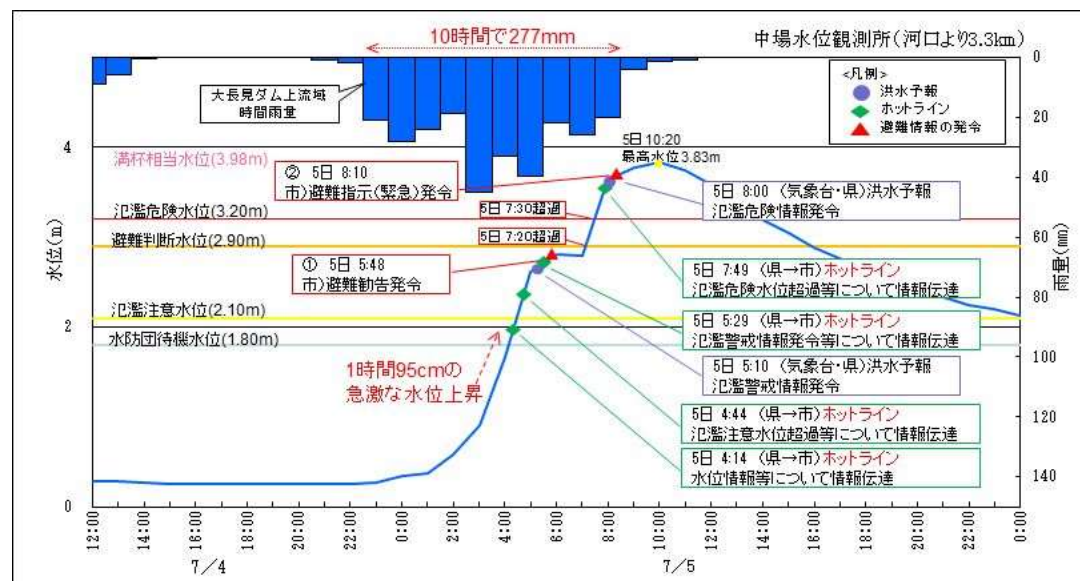
河川に関する情報伝達演習 (H29.4.28)



水防本部（河川課水防室）の状況

ホットラインを含めた情報伝達演習を実施 (H30.4.25)

周布川における水位とホットライン（情報伝達）・避難勧告等 (H29.7.4～5)



<避難状況>

避難勧告 5日5:48 周布町を含む8町(2816世帯、6283人)に発令
 避難指示 5日8:10 周布町を含む8町(2816世帯、6283人)に発令
 避難状況 避難所へは最大456人が避難

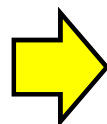
項 目	5. 避難勧告等の発令判断を的確に行うための水防情報提供の充実	
内 容	H29年度取組	次期水防情報システム開発に着手（島根県）
	H30年度予定	次期水防情報システム開発実施（島根県）
取組機関	松江地方気象台、島根県	

◆次期水防情報システムの開発

現水防システムの課題

- ① 迅速かつ確実な情報伝達に懸念
(操作方法が複雑)
- ② 水害リスクの速やかな予測が困難
- ③ 訓練設定機能が複雑、内容が一様
- ④ 県民向けの情報提供

改善



① 迅速かつ確実な情報伝達の確保

- (i) 水防情報の機能一元化
- (ii) 操作方法が容易で誤配信を防ぐシステム

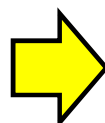
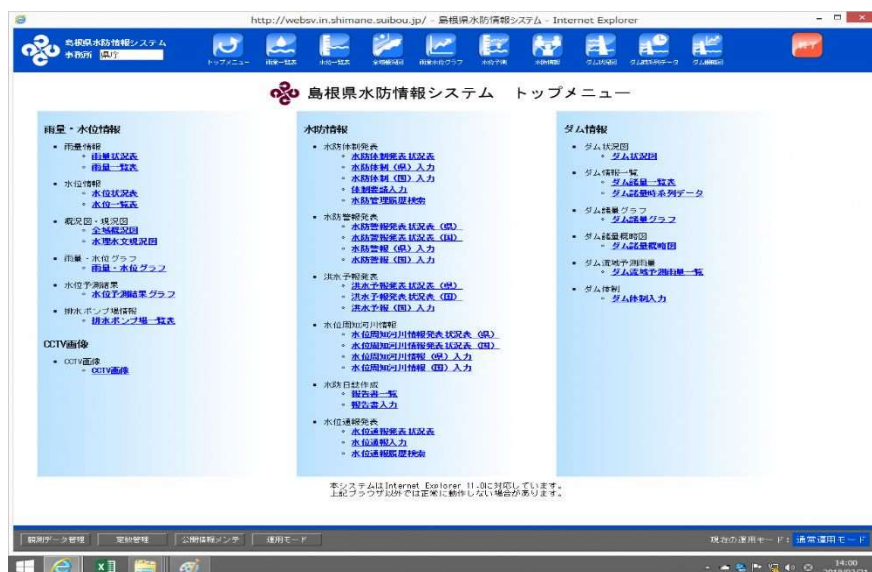
② 水害リスクの予測支援

③ 実態に近い訓練の支援

④ 県民向け情報提供の充実

⑤ 観測通信設備更新への円滑な対応

◆トップ画面イメージ



項 目	5. 避難勧告等の発令判断を的確に行うための水防情報提供の充実	
内 容	H29年度取組	出水期より、改善された防災気象情報を提供開始（松江地方気象台）
	H30年度予定	大雨警報・注意報（浸水害）基準及び洪水警報・注意報基準を改善するための調査を実施中（松江地方気象台）
取組機関	松江地方気象台、島根県	

平成29年度出水期に実施した 防災気象情報の改善概要



基本的方向性

- 社会に大きな影響を与える現象について、可能性が高くなるとも発生のおそれを積極的に伝えていく。
- 危険度やその切迫度を認識しやすくなるよう、分かりやすく情報を提供していく。

交通政策審議会気象分科会提言「新たなステージ」に対応した防災気象情報と観測・予測技術のあり方（平成27年7月29日）より

改善Ⅰ 危険度を色分けした時系列

H29.5.17
提供開始

- 今後予測される雨量等や危険度の推移を時系列で提供
- 危険度を色分け

【改善策】

平成××年××月××日××時××分××地方気象台発表
××市

【発表】暴風、波浪警報 大雨、雷、濃霧注意報
【継続】高潮注意報

××市	今後の推移（ ■ 警報級 ■ 注意報級）													
発表中の 警報・注意報等の種別	7日	8日			9日			10日			11日			
	21-24	0-3	3-6	6-9	9-12	12-15	15-18	18-21	21-24	0-3	3-6	6-9	9-12	12-15
1時間最大雨量 (mm)	10	10	30	30	50	50	50	30						
大雨 (浸水害)														
風向 風速 (矢印、 メートル)														
暴風														
海上														
波浪 (メートル)	5	5	8	8	8	8	8	7	7					
高潮 (メートル)	0.7	0.7	0.8	1.0	1.8	2.0	1.8	1.2	1.2					

【現在】

注意報・警報
（文章形式）

改善Ⅱ 「警報級の可能性」の提供

H29.5.17
提供開始

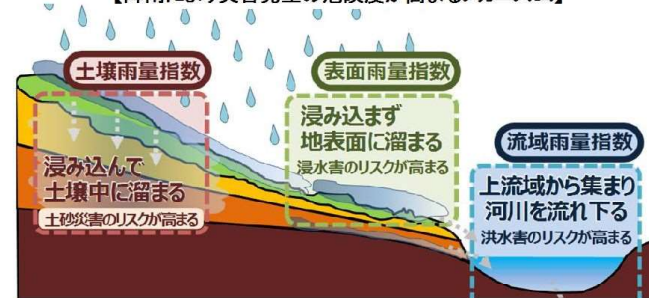
- 夜間の避難等の対応を支援する観点から、可能性が高なくても、「明朝までに警報級の現象になる可能性」を夕方までに発表
- 台風等対応のタイムライン支援の観点から、数日先までの警報級の現象になる可能性を提供

日付	明朝まで	明日	明後日	（金）	（土）	（日）
警報級の可能性	雨 中	—	—	中	高	—
	風 中	—	—	高	高	—

改善Ⅲ 危険度分布（メッシュ情報）の充実

- 災害発生の危険度の高まりを評価する技術の開発（表面雨量指数・流域雨量指数）

【降雨により災害発生の危険度が高まるメカニズム】



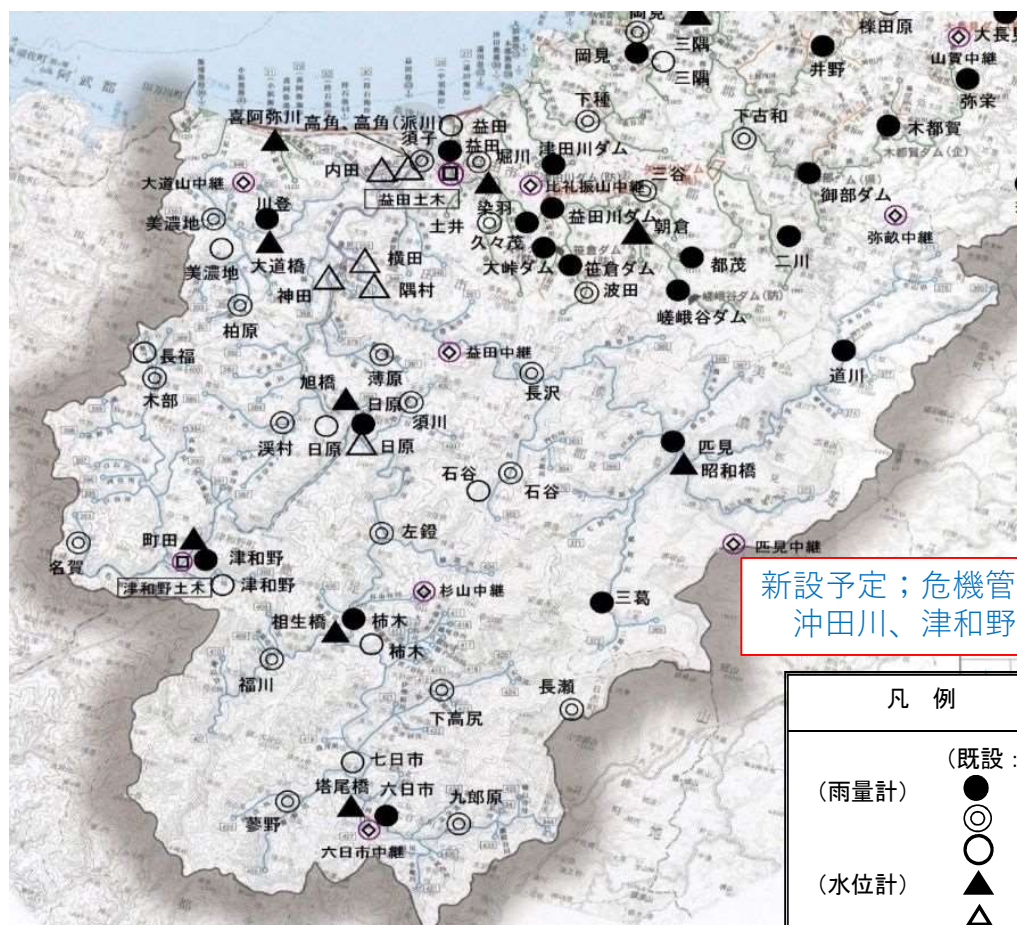
- 大雨警報・洪水警報等を発表した市町村内においてどこで実際に危険度が高まっているかを確認できる危険度分布の提供



- 危険度分布の技術を活用した大雨特別警報の発表対象区域の改善

項 目	6. 水害リスクの高い箇所を監視する簡易水位計等の整備	
内 容	H29年度取組	—
	H30年度予定	島根県/危機管理型水位計の整備〔益田市：沖田川、津和野町：津和野川、吉賀町：鹿足河内川〕
取組機関	益田市、津和野町、吉賀町、島根県	

危機管理型水位計の整備（H30.12月頃予定）



新設予定；危機管理型水位計
沖田川、津和野川、鹿足河内川

凡 例

- | | |
|-------|---------------|
| | (既設：黒) |
| (雨量計) | ● : 県 (河川、ダム) |
| | ◎ : 県 (砂防) |
| | ○ : 国交省 |
| (水位計) | ▲ : 県 |
| | △ : 国交省 |



洪水に特化した低コストな水位計の設置例



項 目	7. 出前講座や広報紙を活用した防災知識の普及	
内 容	H29年度取組	各市広報誌、新聞広報（考える県政）、防災出前講座、水防技術講習会
	H30年度予定	新聞広報、出前講座等を継続実施
取組機関	益田市、津和野町、吉賀町、島根県	

○益田市の取組状況

広報紙を活用した防災知識の普及

◇広報誌に防災コラムを掲載

平成 29 年 5 月号

ワンポイント防災知識～そのときどうする風水害編～

- 気象情報の「注意報」と「警報」、「特別警報」の違い

気象庁から、大雨や強風などの気象現象によって災害がおこるおそれがある時には「注意報」が、重大な災害が起こるおそれがある時には「警報」が発表されます。

また、警報の発表基準をはるかに超える大雨や大津波等が予想され、重大な災害の起こるおそれが著しく高まっている時には「特別警報」が発表されます。

万一の時に備え、自分の地域の避難場所等を確認しておきましょう。

また、テレビやラジオ、インターネットなどで常に新しい気象情報を確認しましょう。



平成 29 年 7 月号

ワンポイント防災知識～そのときどうする風水害編～

- 「避難情報」の違いをご存じですか

避難が必要な場合、益田市長が発令する名称は3つあります。

種 類	内 容
避難準備・高齢者避難開始	避難の準備を呼びかけるものです。 避難に時間がかかる要配慮者とその支援者は避難を開始する必要があります。
避難勧告	災害による被害が予想され、人的被害が発生する可能性が高まっています。 速やかに避難を開始してください。
避難指示（緊急）	大至急、近くの安全な場所に避難するか、屋内の安全な場所に避難してください。

必ずしも段階的に発令されるとは限りません。これらの情報が発令されていなくても、身の危険を感じる場合は避難を開始してください。

防災訓練、防災教室等の実施

防災訓練の実施状況



養護学校防災訓練



益田高校防災訓練

防災教室等の実施状況



浜寄しあわせサロン
防災教室



益田あけぼのライオンズクラブ防災講演

項 目	7. 出前講座や広報紙を活用した防災知識の普及	
内 容	H29年度取組	各市広報誌、新聞広報（考える県政）、防災出前講座、水防技術講習会
	H30年度予定	新聞広報、出前講座等を継続実施
取組機関	益田市、津和野町、吉賀町、島根県	

○吉賀町の取組状況

防災・減災体験イベントの開催による防災知識の普及

◇小中学校の夏休み期間に防災・減災体験イベントを開催し、災害の疑似体験・メカニズムを知ってもらうことにより、防災・減災対策についての意識を高めてもらう取り組みを実施

防災・減災 体験イベント

IN

よしかちょう

最接近に「合し」
かなない避難率を
やってみよう

地震の疑似体験ができ
る避難率もくもくよ!!

参加料無料
少雨決行

日時 平成29年8月27日(日)

時間 午前9時30分～午後1時

場所 吉賀町六日市体育館周辺

もしもの時に、自分たちでできることを身につけておきましょう!
おにぎりも配りますが、みなさんの参加をお待ちしています。

（切り取り線）【表面】

（スタンプラリー参加申込書） 提出締切日: 7月14日(金)

・スタンプラリーに参加するには、事前申込が必要です。
・切り取り線から切りはなして、学校に提出してください。
保護者の名前: ()

スタンプラリー参加者数: (小学生: 人、中学生: 人)

体験イベントの内容

- ・スタンプラリー（参加できるのは町内の小中学生のみ。豪華参加賞あり。）
- ・ハイゼックス震断体験（展示、カレー試食あり。）
- ・ロープワーク（本結び、腰結び、もやい結び等）
- ・救命救命（心肺蘇生法、AED、包帯法、簡易担架使用法等の講習）
- ・消火体験（水消火筒や軽可搬ポンプを使用した消火体験）
- ・地震車（地震体験車で地震が起きたときの疑似体験）
- ・煙体験（火災が起きたときの疑似体験）
- ・降雨体験（大雨が降ったときの疑似体験）
- ・土砂災害発生メカニズム模型体験（土砂災害のメカニズムを模型で学習）
- ・防災体操（歌と体操で防災について楽しく学習）
- ・ポンプ車、防災備蓄品の展示

体験イベントの内容は
予告なく変更
になる場合があります。

・主催者: 吉賀町防災連絡会
・共催者: 吉賀町、六日市分庁舎、福寿分庁舎

【問い合わせ先】
吉賀町役場総務課【大田】
TEL: 77-1111

（切り取り線）【裏面】

（スタンプラリー参加申込書） 提出締切日: 7月14日(金)

・スタンプラリーに参加するには、事前申込が必要です。（表面に必要事項を記載ください。）
・スタンプラリーに参加できるのは、町内の小学生・中学生のみです。
・事前に決められたもののイベントを体験すると豪華参加賞がもらえます。
・切り取り線から切りはなして、締め切りまでに学校に提出してください。

イベントの開催状況



降雨体験



降雨体験



防災避難用品の展示



災害発生メカニズム
模型学習

項 目	8. 水害リスクの高い重要水防区域、危険な箇所の共同点検	
内 容	H29年度取組	—
	H30年度予定	出水期前に水防関係団体による連絡調整会議を開催。 「洪水予報河川」及び「重要水防区域」に指定されている益田川の共同点検を実施。
取組機関	益田市、消防本部、消防団、島根県	

H30 連絡調整会議（H30.6.6）、共同点検（H30.7月中旬）

◆連絡調整会議

- 日時：平成30年6月6日（水）14:00～
- 参加機関
 - 益田市
 - 消防本部
 - 警察
 - 島根県
- 内容 水防計画について
危険箇所の現地確認

◆共同点検

- 日時：平成30年7月中旬
- 参加機関
 - 益田市
 - 消防本部
 - 消防団
 - 島根県
- 内容 河川巡視、施設点検（半日）
- 範囲 益田川 益田市大谷町（八坂橋）
～益田市久城町（河口）
※重要水防区域



重要水防区域の点検状況



共同点検実施打合せ

項 目	8. 水害リスクの高い重要水防区域、危険な箇所の共同点検等	
内 容	H29年度取組	出水期前に水防関係団体による連絡協議会を開催。 津和野町、吉賀町の主催により、出水期前に重要水防区域、危険な箇所について確認。 (津和野町、吉賀町、島根県、津和野警察、消防署)
	H30年度予定	H29年度と同様の取組みに加えて、「水防資機材」の共同点検を実施。 「水防資機材」の提供方法についても確認。 参加団体に地元(消防団又は自治会)を含める。
取組機関	津和野町、吉賀町、消防署、警察、島根県	

H30 共同点検 (H30.6月実施予定)

【津和野町】

日時

H29.6.28 (水) 13:30～

点検箇所

- ①高津川 (左澗)
- ②津和野川 (枕瀬)
- ③津和野川 (瀧本小直)
- ④津和野川 (下横瀬)
- ⑤津和野川 (山入)
- ⑥津和野川 (鷺原)
- ⑦津和野川 (後田)

参加者

津和野町・津和野土木・警察・消防

【吉賀町】

日時

H29.6.23 (金) 9:00～

点検箇所

- ①栗木川 (栗木)
- ②高津川 (柿木)
- ③立河内川 (立河内)

参加者

吉賀町・津和野土木・警察・消防



共同点検の様子 (津和野川)

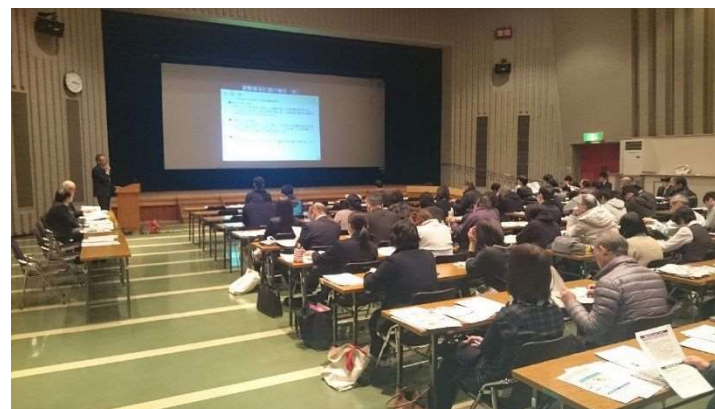
項 目	10. 要配慮者利用施設の管理者が策定する避難確保計画作成及び訓練実施の支援	
内 容	H29年度取組	要配慮者利用施設の管理者向け説明会の開催【H30.1.23】
	H30年度予定	継続実施
取組機関	協議会全体	

河川災害・土砂災害への備えに関する要配慮者利用施設の管理者向け説明会の開催【H30.1.23】

■説明会の内容

- 日時：平成30年1月23日(火)14：00～
- 場所：益田市市民学習センター 多目的ホール
- 主催：益田市
- 内容
 - (1) 河川災害に備えて
国土交通省浜田河川国道事務所
 - (2) 避難確保計画(洪水)作成の留意点
島根県土木部河川課
 - (3) 土砂災害に備えて
島根県土木部砂防課
- 参加
 - 対象 103施設
 - 参加 53施設68人

■説明会の実施状況



項 目	10. 要配慮者利用施設の管理者が策定する避難確保計画作成及び訓練実施の支援	
内 容	H29年度取組	要配慮者利用施設の管理者向け説明会の開催【H30.1.23】
	H30年度予定	継続実施
取組機関	協議会全体	

避難計画作成状況

◆益田市

<H29.12現在>	<H30.3現在>
作成済み 6 施設	13 施設
未作成 97 施設	90 施設
作成率 5.8 %	12.6 %

◆津和野町

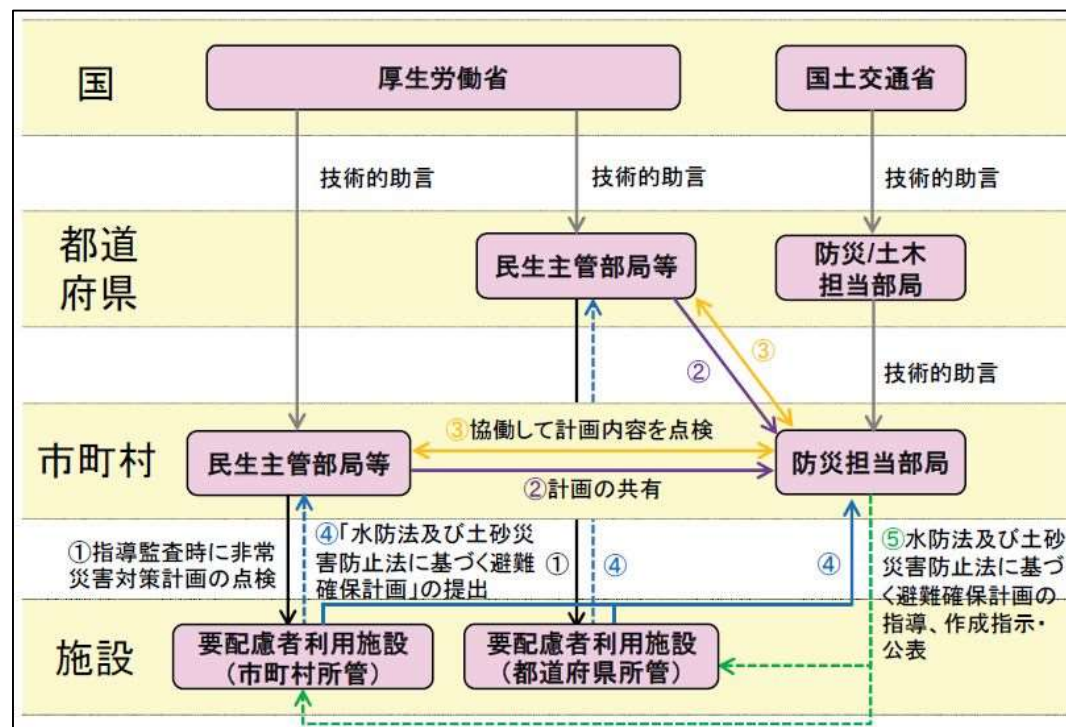
<H29.12現在>	<H30.3現在>
作成済み 0 施設	0 施設
未作成 2 施設	2 施設
作成率 0 %	0 %

◆吉賀町

対象施設無し
(自主的に1施設作成済)

※ 新たな洪水浸水想定を踏まえ、再度、対象となる施設数の見直しを行う。

要配慮者利用施設の避難確保計画作成・点検の流れ



国土交通省HP「◇法改正についての各地方ブロック説明会資料
(平成29年6月作成)」より抜粋

項 目	1 1. 河川改修、堆積土砂の撤去等による洪水氾濫を未然に防ぐ対策	
内 容	H29年度取組	益田川 【河川に堆積した土砂の取り除き】
	H30年度予定	—
取組機関	島根県	

H29 堆積土砂撤去



河川内に堆積した土砂の掘削を行い、流下能力の向上を図る。



項 目	1 1. 河川改修、堆積土砂の撤去等による洪水氾濫を未然に防ぐ対策	
内 容	H29年度取組	高津川 河村【河川に堆積した土砂の取り除き】
	H30年度予定	—
取組機関	島根県	

H29 堆積土撤去

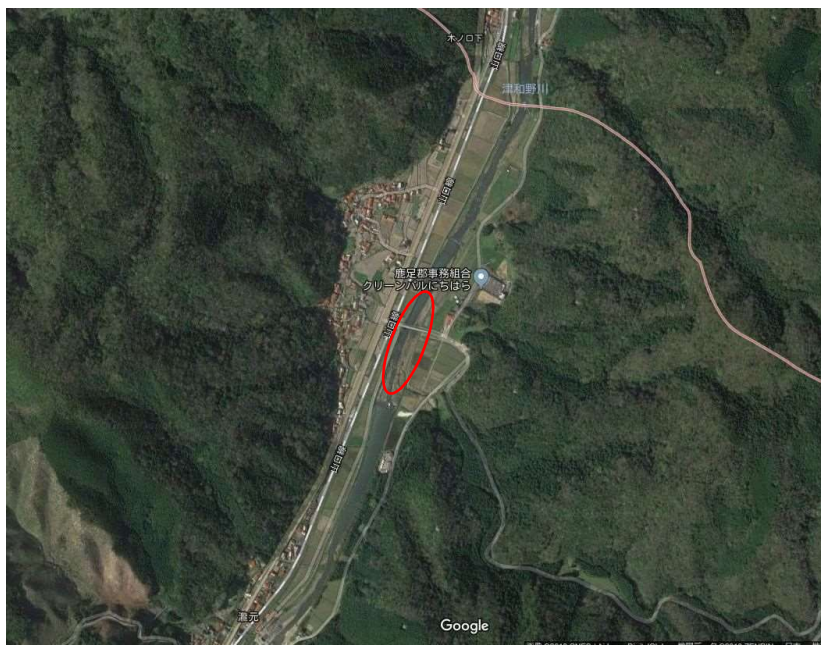


河川内に堆積した土砂の掘削を行い、流下能力の向上を図る。



項 目	1 1. 河川改修、堆積土砂の撤去等による洪水氾濫を未然に防ぐ対策	
内 容	H29年度取組	津和野川 小直【河川に堆積した土砂の取り除き】
	H30年度予定	—
取組機関	島根県	

H29 堆積土撤去



河川内に堆積した土砂の掘削を行い、流下能力の向上を図る。

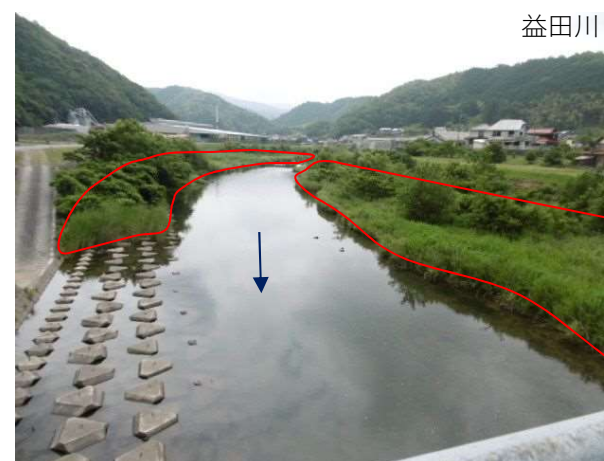


項 目	1 1. 河川改修、堆積土砂の撤去等による洪水氾濫を未然に防ぐ対策	
内 容	H29年度取組	白上川 【河川内に繁茂する立木等の伐採】
	H30年度予定	白上川、益田川 【河川内に繁茂する立木等の伐採】 高津川 柿木 【河川に堆積した土砂の取り除き】
取組機関	島根県	

H29 河川内に繁茂する立木（支障木）等の伐採
H30 河川内に繁茂する立木（支障木）等の伐採、堆積土砂撤去予定



河川内に立木が繁茂し河道の流下能力が低下していることから伐採を行う。



項 目	1 2. 排水施設、排水資機材等の情報を共有	
内 容	H29年度取組	島根県水防計画により排水施設、排水機材の情報共有
	H30年度予定	島根県水防計画により排水施設、排水機材の情報共有
取組機関	益田市、津和野町、吉賀町、浜田河川国道事務所、島根県	

平成30年度 島根県水防計画抜粋

(1) 国土交通省所有機械基地名称及び位置

基 地 名	所 在 地	台数	規 格	車両 総重量(kg)
斐伊川出雲市 河川防災ステーション	出雲市上塩治町	1 台	排水ポンプ車 0.5 m ³ /s (揚程 2.0 m) 機械番号 25-4706	18,070 未満
		1 台	照明車 2kw×6 灯 機械番号 11-4718	6,810
出雲河川事務所 中海出張所	安来市東赤江町福井 1637	1 台	排水ポンプ車 0.5 m ³ /s 機械番号 18-4708	9,030
		1 台	照明車 2kw×6 灯 機械番号 21-4703	7,770
浜田河川国道事務所 安富水防倉庫	益田市安富町	1 台	排水ポンプ車 0.5 m ³ /s 機械番号 21-4702	9,340
浜田河川国道事務所 江の川下流出張所	江津市渡津町	1 台	排水ポンプ車 0.5 m ³ /s (揚程 2.0 m) 機械番号 21-4706	17,300
		1 台	照明車 2kw×6 灯 機械番号 11-4719	6,810
浜田河川国道事務所 多田水防倉庫	川木町多田	1 台	排水ポンプ車 0.5 m ³ /s (揚程 2.0 m) 本部付 機械番号 22-4700	17,050
浜田河川国道事務所 尾原水防倉庫	川木町川下	1 台	排水ポンプ車 0.5 m ³ /s (揚程 20m) 本部付 機械番号 19-4704	17,270
		1 台	照明車 2kw×6 灯 本部付 機械番号 20-4705	7,650
浜田河川国道事務所 益田国道維持出張所	益田市あけぼの町	1 台	照明車 2kw×6 灯 機械番号 16-1709 本部付	

(2) 島根県所有機械基地名称及び位置

基 地 名	所 在 地	台数	規 格	車両 総重量(kg)
雲南県土整備事務所	雲南市木次町里方 531-1	1 台	排水ポンプ車 0.5 m ³ /s	10,340

(参考) 平成 19 年 6 月 2 日に施行された改正道路交通法により、ポンプ車を一般道路で走行するためには、下記の区分による免許が必要となります。

「本部付」は災害対策本部長(局長)が管理することを意味する。

(3) 要請先(窓口)

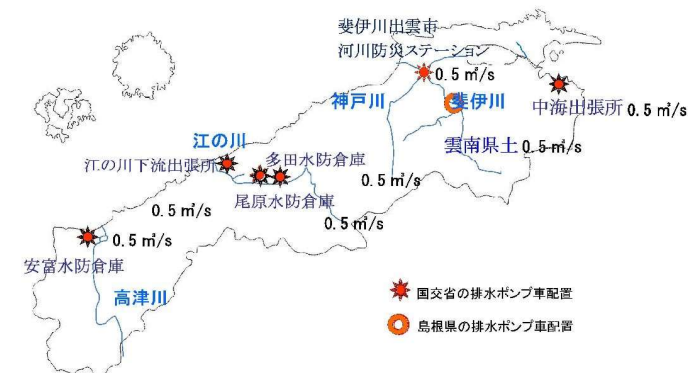
1) 国土交通省所有機械

国土交通省出雲河川事務所	管理第一課	TEL 0853-20-1753 FAX 0853-22-6117
国土交通省浜田河川国道事務所	河川管理課	TEL 0855-22-2480 FAX 0855-22-2486
国土交通省中国地方整備局 企画部	防災課	TEL 082-221-9231 FAX 082-227-2651

2) 島根県所有機械

各県土整備事務所等(各水防支部・地区)	水防担当課	TEL 県水防計画 P6 参照 FAX //
十木部河川課(水防本部)	防災グループ	TEL 0852-22-6363

○島根県内の排水ポンプ車配備位置図



出雲河川事務所所有の排水ポンプ車



能力: 30m³/min (5m³/min×6)
設置人数: 5 名程度
運転時間: 約 48 時間
(斐伊川出雲市河川防災ステーション)

能力: 30m³/min (5m³/min×6)
設置人数: 5 名程度
運転時間: 約 48 時間
(中海出張所)

・設置人数は、標準的な現場において全台数の運転開始までの所要時間を 1 時間程度と想定した場合の参考値
・運転時間は燃料タンク残量での開始直前運転時間

項 目	1 3. 市町村庁舎等の災害拠点施設の自衛水防の推進	
内 容	H29年度取組	
	H30年度予定	
取組機関	益田市、津和野町、吉賀町、島根県	

益田市

【現状】

< 益田赤十字病院（災害拠点病院） >

- ・ 浸水想定区域外
- ・ 非常用発電機は屋上に設置
（重油タンクは1階に設置）

< 益田市役所 >

- ・ 浸水想定区域内
- ・ 非常用発電機は地上4.5mに設置

吉賀町

【現状】

< 六日市病院 >

- ・ 浸水想定区域外
- ・ 非常用発電機は1階に設置

< 吉賀町役場（本庁舎） >

- ・ 浸水想定区域外
- ・ 非常用発電機は1階に設置

津和野町

【現状】

< 津和野共存病院 >

- ・ 浸水想定区域外
- ・ 非常用発電機は1階に設置

< 津和野町役場（津和野庁舎） >

- ・ 浸水想定区域外
- ・ 非常用発電機はなし

島根県

【現状】

< 益田合庁 >

- ・ 浸水想定区域内
- ・ 非常用発電機は1階に設置

< 津和野土木事業所 >

- ・ 浸水想定区域外
- ・ 非常用発電機は1階に設置

主な取組項目		対象	目標時期	取組機関					備考					
				益田市	津和野町	吉賀町	浜田河川国道事務所	松江地方気象台	島根県（益田県土・津和野土木）					
■水害リスク情報等を地域と共有し、命を守るための確実な避難の実現														
1	想定最大規模降雨に係る洪水浸水想定区域図の作成・周知	益田川 高津川（県管理） 津和野川	平成30年度末まで				平成28年度公表済		◆想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図作成・公表し、関係市町へ提供する。 ◆H29～津和野町、吉賀町 ◆H30～益田市					
			H29取組状況						・津和野川、高津川、益田川の洪水浸水想定区域図作成					
			H30取組予定						・津和野川、高津川、益田川の洪水浸水想定区域図を公表【H30.5.25】し、津和野町、吉賀町、益田市に提供					
2	水害ハザードマップの改良・周知	対象流域	平成32年度末まで	◆県の洪水浸水想定区域図公表の後に、水害ハザードマップを見直す。 （平成30年度作成予定） ◆ハザードマップポータルサイトへ登録し、住民等へ広く周知する。 （ハザードマップ完成後すぐに登録） ◆印刷物の各戸配布する。 （平成30年度配布予定）	◆県の洪水浸水想定区域図公表の後に、水害ハザードマップを見直す。 （平成30年度作成予定） ◆ハザードマップポータルサイトへ登録し、住民等へ広く周知する。 （ハザードマップ完成後すぐに登録） ◆印刷物の各戸配布する。 （平成31年度配布予定）	◆県の洪水浸水想定区域図公表の後に、水害ハザードマップを見直す。 （平成30年度作成予定） ◆ハザードマップポータルサイトへ登録し、住民等へ広く周知する。 （ハザードマップ完成後すぐに登録） ◆印刷物の各戸配布する。 （平成32年度配布予定） （印刷物は土砂災害と一緒に作成）								
			H29取組状況	—	—	—								
			H30取組予定	・ハザードマップの作成、登録 ・ハザードマップの周知、配布	・ハザードマップの作成、登録 ・ハザードマップの周知	・ハザードマップの作成、登録 ・ハザードマップの周知								
3	避難勧告等の発令に着目した水害対応タイムラインの策定	益田川 高津川（県管理） 津和野川	平成30年度の出水期までに水害対応タイムラインの作成	◆既存の水害対応チェックリストを基に水害対応タイムラインを作成し、災害時に各機関が取るべき行動を再確認するとともに、確実な遂行を実現する。 ◆洪水浸水想定区域図作成後にタイムラインの見直しを行うとともに、実際の洪水や情報伝達訓練を踏まえて、適宜、チェックリストやタイムラインの改善を行う。	◆既存の水害対応チェックリストを基に水害対応タイムラインを作成し、災害時に各機関が取るべき行動を再確認するとともに、確実な遂行を実現する。 ◆洪水浸水想定区域図作成後にタイムラインの見直しを行うとともに、実際の洪水や情報伝達訓練を踏まえて、適宜、チェックリストやタイムラインの改善を行う。	◆既存の水害対応チェックリストを基に水害対応タイムラインを作成し、災害時に各機関が取るべき行動を再確認するとともに、確実な遂行を実現する。 ◆洪水浸水想定区域図作成後にタイムラインの見直しを行うとともに、実際の洪水や情報伝達訓練を踏まえて、適宜、チェックリストやタイムラインの改善を行う。	◆タイムラインの策定に関する支援	◆水害対応タイムラインの確認・調整。 （水害対応タイムラインにおいて防災気象情報を有効に活用する観点から助言を行う）	◆既存の水害対応チェックリストを基に水害対応タイムラインを作成し、災害時に各機関が取るべき行動を再確認するとともに、確実な遂行を実現する。 ◆洪水浸水想定区域図作成後にタイムラインの見直しを行うとともに、実際の洪水や情報伝達訓練を踏まえて、適宜、チェックリストやタイムラインの改善を行う。					
			H29取組状況	・対象河川の水害対応タイムラインの作成【H30.6.1】										
			H30取組予定	・実洪水・情報伝達訓練を通じ必要に応じて見直し										
4	洪水時における河川管理者からの情報提供（ホットラインの定着）	益田川 高津川（県管理） 津和野川	平成28年度から継続実施	◆出水期前の情報伝達演習等を通じて、連絡体制の定着を図る。	◆出水期前の情報伝達演習等を通じて、連絡体制の定着を図る。	◆出水期前の情報伝達演習等を通じて、連絡体制の定着を図る。			◆出水期前の情報伝達演習等を通じて、連絡体制の定着を図る。					
			H29取組状況	・情報伝達演習の実施【H29.4.28】	・情報伝達演習の実施【H29.4.28】	・情報伝達演習の実施【H29.4.28】			・情報伝達演習の実施【H29.4.28】					
			H30取組予定	・情報伝達演習でホットラインを実施【H30.4.25】	・情報伝達演習でホットラインを実施【H30.4.25】	・情報伝達演習でホットラインを実施【H30.4.25】			・情報伝達演習でホットラインを実施【H30.4.25】					
5	避難勧告等の発令判断を的確に行うための水防情報提供の充実	圏域	平成32年度末まで					◆防災気象情報の改善 ○危険度を色分けした時系列 ○警報級の可能性の提供 ○スマートフォンに対応した情報提供 ○危険度分布(メッシュ情報)の充実	◆次期水防情報システムの開発（平成31年度から運用開始予定） ○操作法を改善し迅速な情報提供 ○観測データの異常値チェック機能 ○スマートフォンに対応した情報提供 ◆雨量計、水位計等の更新を行う。 （平成32年度末更新完了予定）					
			H29取組状況					・平成29年度出水期より改善された防災気象情報を提供開始（完）	・次期水防情報システム開発に着手					
			H30取組予定					・大雨警報・注意報（浸水害）基準及び洪水警報・注意報基準を改善するための調査を実施中	・次期水防情報システム開発					

益田圏域県管理河川における減災対策協議会（各機関における取組内容の詳細 及び 取組状況）

	主な取組項目	対象	目標時期	取組機関					備考	
				益田市	津和野町	吉賀町	浜田河川国道事務所	松江地方気象台		島根県（益田県土・津和野土木）
6	水害リスクの高い箇所を監視する簡易水位計等の整備	—	平成30年度から順次実施	◆簡易水位計設置箇所の周知および水位情報の把握や活用の検討					◆モデル河川に簡易水位計を整備し、効果を検証した上で順次拡大を図る。 ○モデル河川・・・今後調整	
			H29取組状況	—					—	
			H30取組予定	—					・簡易水位計の整備 益田市　：沖田川 津和野町：津和野川 吉賀町　：鹿足河内川	
7	出前講座や広報紙を活用した防災知識の普及	圏域	毎年継続実施	【住民自らが考え、行動できる情報の"意味"や"入手方法"などを周知する】 ◆小学校、養護学校等で防災教室を開催（9月末現在3校） ◆障がい者団体、自治会等で防災講演、訓練支援（9月末現在14か所） ◆毎月、広報誌で防災コラムを掲載（高齢者にもわかりやすい情報提供） ◆防災メール登録の推進	【住民自らが考え、行動できる情報の"意味"や"入手方法"などを周知する】 ◆公民館や自治会、自主防災組織等からの要請による防災に関する出前講座の開催や地区防災訓練の支援。 ◆広報紙やCATVを活用した定期的に防災知識の普及・啓発。 （高齢者にもわかりやすい情報提供） ◆防災メール登録の推進	【住民自らが考え、行動できる情報の"意味"や"入手方法"などを周知する】 ◆出前講座により水防情報の入手、活用方法等について周知 ◆防災イベントの開催 ◆広報紙を活用した防災情報発信（高齢者にもわかりやすい情報提供） ◆防災メール登録の推進	◆防災知識の普及に協力。	◆出前講座等により防災気象情報の入手、活用方法等について周知。また、協議会として防災教育を実施する際には講師派遣、資料提供に対応。	◆市町の出前講座等を支援する。 ◆ホームページを活用して防災情報を発信する。	
			H29取組状況	<H30年3月末時点> ・吉田小、益田養護学校で防災教室開催 ・益田、翔陽各高校で防災避難訓練支援 ・障がい者団体、自治会等で防災講演、訓練支援（14か所） ・益田あけぼのライオンズクラブ防災講演 ・毎月、広報誌で防災コラムを掲載	・出前講座の実施 ・広報紙掲載	・出前講座の実施 ・広報紙掲載	(参考：国管理区間) H29.6.11益田市明見団地にて避難訓練及び出前講座実施	・未実施（出前講座等の要請無し）	・新聞広報（考える県政） 【H29.6.18】 ・水防技術講習会【H30.3.18】	
			H30取組予定	・小学校、養護学校等で防災教室を開催 ・障がい者団体、自治会等で防災講演、訓練支援 ・毎月、広報誌で防災コラムを掲載	・出前講座の実施 ・広報紙掲載	・出前講座の実施 ・広報紙掲載 ・小学校で防災研修を開催	・防災知識の普及に協力	・出前講座等	・新聞広報、出前講座等	
8	水害リスクの高い重要水防区域、危険な箇所の共同点検	益田川 高津川（県管理） 津和野川 他	平成30年度から	◆出水期前に重要水防区域、危険な箇所、水防資機材等について、河川管理者・市・消防署・警察等と共同点検する。	◆出水期前に重要水防区域、危険な箇所、水防資機材等について、河川管理者・町（防災・建設部局）・消防署・警察等と共同点検する。	◆出水期前に重要水防区域、危険な箇所、水防資機材等について、河川管理者・町（防災・建設部局）・消防署・警察等と共同点検する。			◆出水期前に重要水防区域、危険な箇所、水防資機材等について、河川管理者・市町・消防団等と共同で点検する。	
			H29取組状況	—	出水期前に重要水防区域、危険な箇所について確認【H29.6.28】	出水期前に重要水防区域、危険な箇所について確認【H29.6.23】			—	
			H30取組予定	・「洪水予報河川」及び「重要水防区域」に指定されている益田川の共同点検を実施。 「水防資機材」の提供方法についても確認。	・参加団体に地元（消防団又は自治会）を含めて共同点検を実施。 「水防資機材」の提供方法についても確認。	・参加団体に地元（消防団又は自治会）を含めて共同点検を実施。 「水防資機材」の提供方法についても確認。			・出水期前に連絡調整会議を開催し、「危険な箇所」「重要水防区域」「水防資機材」の共同点検を実施。「水防資機材」の提供方法についても確認	
9	水害危険性の周知促進	—	平成31年度から	◆県や市が保有する過去の浸水実績などを利用して、住民等に対して水害の危険性を周知する。	◆県や町が保有する過去の浸水実績などを利用して、住民等に対して水害の危険性を周知する。	◆県や町が保有する過去の浸水実績などを利用して、住民等に対して水害の危険性を周知する。			◆県が保有する過去の浸水実績等を関係市町へ提供する。	
			H29取組状況	—	—	—			—	
			H30取組予定	—	—	—			—	

主な取組項目		対象	目標時期	益田市	津和野町	吉賀町	取組機関	浜田河川国道事務所	松江地方気象台	島根県（益田県土・津和野土木）	備考
■要配慮者利用施設における確実な避難											
10	要配慮者利用施設の管理者が策定する避難確保計画作成支援	圏域	平成28年度から継続実施	◆施設管理者向け説明会の開催（平成30年1月～2月）および避難確保計画作成の支援 < H29年12月時点 > 【対象施設 1 0 3 施設】 （内訳） 避難計画策定済み 6 施設 避難計画 未策定 9 7 施設 ※ 新たな洪水浸水想定の結果が出たら、再度、対象となる施設数の見直しを行う。 ◆施設管理者や職員に対して、防災メール登録の推進	◆洪水浸水想定区域内の要配慮者地要施設の管理者が策定する避難確保計画等の作成支援 < H29年12月時点 > 【対象施設 2 施設】 （内訳） 避難計画策定済み ー ー ー 避難計画 未策定 2 施設 ※ 新たな洪水浸水想定の結果が出たら、再度、対象となる施設数の見直しを行う。 ◆施設管理者や職員に対して、防災メール登録の推進	◆避難確保計画作成の支援 < H29年12月時点 > 【対象施設 なし】 （自主的に 1 施設策定済） ・養護老人ホーム ・風水害/土砂災の避難計画策定 ※ 新たな洪水浸水想定の結果が出たら、再度、対象となる施設数の見直しを行う。 ◆施設管理者や職員に対して、防災メール登録の推進		◆平成28年度施設管理者向け説明会の開催 ◆避難確保計画作成に関する支援	◆平成28年度施設管理者向け説明会の開催 ◆避難確保計画において防災気象情報を有効に活用する観点から助言	◆平成28年度に施設管理者向け説明会を開催した。 ◆モデル施設で作成する避難確保計画を協議会の場で共有する。 ◆市町の支援	
			H29取組状況	< H30年3月末時点 > 【対象施設 1 0 3 施設】 （内訳） 避難計画策定済み 1 3 施設 避難計画 未策定 9 0 施設	< H30年3月末時点 > 【対象施設 2 施設】 （内訳） 避難計画策定済み ー ー ー 避難計画 未策定 2 施設	< H30年3月末時点 > 【対象施設 なし】 （自主的に 1 施設策定済） ・養護老人ホーム ・風水害/土砂災の避難計画策定	・要配慮者利用施設の管理者向け説明会の開催【H30.1.23】	・未実施	・要配慮者利用施設の管理者向け説明会の開催【H30.1.23】		
			H30取組予定	・継続	・継続	・継続	・避難確保計画作成に関する支援を行う	・説明会及び避難確保計画作成に協力する。	・計画作成支援を行う		
			■被災すると社会経済に大きな影響を与える施設や基盤の保全を図る								
11	河川改修、堆積土砂の撤去等による洪水氾濫を未然に防ぐ対策	圏域	平成28年度から継続実施	◆通水を阻害する堆積土砂・立木の撤去について、県と調整しながら優先箇所を定めて順次実施していく。	◆通水を阻害する堆積土砂・立木の撤去について、県と調整しながら優先箇所を定めて順次実施していく。	◆通水を阻害する堆積土砂・立木の撤去について、県と調整しながら優先箇所を定めて順次実施していく。				◆河川整備状況を市町と共有する。 ◆河川改修、水門、排水施設の長寿命化について計画的に実施する。 ◆通水を阻害する堆積土砂・立木の撤去について、関係市町と調整しながら優先箇所を定めて順次実施していく。	
			H29取組状況	—	—	—			・河道掘削、立木伐採については、地元、市町村の要望を踏まえて優先箇所について実施		
			H30取組予定	—	—	—			・河道掘削、立木伐採については、地元、市町村の要望を踏まえて優先箇所について実施		
12	排水施設、排水資機材等の情報を共有	圏域	毎年継続実施 ※島根県の「排水計画の検討」については、新たな洪水浸水想定結果を受けて排水計画の検討が必要になった際に、目標時期を設定する	◆排水施設、排水資機材、備蓄水防資機材等の情報を共有する。	◆排水施設、排水資機材、備蓄水防資機材等の情報を共有する。	◆排水施設、排水資機材、備蓄水防資機材等の情報を共有する。	◆排水施設、排水資機材等の情報提供 ◆排水計画策定に関する助言			◆排水施設、排水資機材、備蓄水防資機材等の情報を共有する。 ◆新たに作成する「想定最大規模降雨による洪水浸水想定」の結果から、災害拠点施設などの重要施設が立地するエリアで浸水継続時間が長期になるようであれば、ポンプ車などの配置などを考慮した効率的な排水計画を検討する。	
			H29取組状況	・排水施設、排水資機材、備蓄水防資機材等の情報を共有	・排水施設、排水資機材、備蓄水防資機材等の情報を共有	・排水施設、排水資機材、備蓄水防資機材等の情報を共有	・平成29年度島根県水防計画作成時に排水施設、排水機材の情報提供(参考) H29.6.8高津川(国管理区間)水防連絡会において共有		・平成29年度水防計画により排水施設、排水機材の情報共有		
			H30取組予定	・排水施設、排水資機材、備蓄水防資機材等の情報を共有	・排水施設、排水資機材、備蓄水防資機材等の情報を共有	・排水施設、排水資機材、備蓄水防資機材等の情報を共有	・平成30年度水防計画により排水施設、排水機材の情報共有		・平成30年度水防計画により排水施設、排水機材の情報共有		

主な取組項目		対象	目標時期	取組機関					備考
				益田市	津和野町	吉賀町	浜田河川国道事務所	松江地方気象台	
13	市町村庁舎等の災害拠点施設の自衛水防の推進	圏域	平成29年度から継続実施	◆洪水時の情報伝達の体制や提供方法について、洪水浸水想定区域内の庁舎や災害拠点病院等の各施設管理者等に周知する。 ◆洪水浸水想定区域内にある庁舎や災害拠点病院等の機能を確保するため、浸水想定の情報を実施管理者に提供し、耐水化・非常用電源等の必要な対策を実施してもらう。 【現状】 <益田赤十字病院（災害拠点病院）> ・浸水想定区域外 ・非常用発電機は屋上に設置（重油タンクは1階に設置） <市役所> ・浸水想定区域内 ・非常用発電機は地上4.5mに設置	◆洪水時の情報伝達の体制や提供方法について、洪水浸水想定区域内の庁舎や拠点病院等の各施設管理者等に周知する。 ◆洪水浸水想定区域内にある庁舎や拠点病院等の機能を確保するため、浸水想定の情報を実施管理者に提供し、耐水化・非常用電源等の必要な対策を実施してもらう。 【現状】 <津和野共存病院> ・浸水想定区域外 ・非常用発電機は1階に設置 <役場（津和野庁舎）> ・浸水想定区域外 ・非常用発電機は無し	◆洪水時の情報伝達の体制や提供方法について、洪水浸水想定区域内の庁舎や拠点病院等の各施設管理者等に周知する。 ◆洪水浸水想定区域内にある庁舎や拠点病院等の機能を確保するため、浸水想定の情報を実施管理者に提供し、耐水化・非常用電源等の必要な対策を実施してもらう。 【現状】 <六日市病院> ・浸水想定区域外 ・非常用発電機は1階に設置 <役場> ・浸水想定区域外 ・非常用発電機は1階に設置	◆自衛水防の推進に関する支援	◆想定最大規模降雨での想定結果から、洪水浸水想定区域内にある災害拠点施設における浸水深さなどの情報を市町に提供する。 ◆洪水浸水想定区域内にある県庁舎の機能を確保するため、浸水想定の実施管理者に提供し、耐水化・非常用電源等の必要な対策を実施してもらう。 【現状】 <益田合庁> ・浸水想定区域内 ・非常用発電機は1階に設置 <津和野土木事業所> ・浸水想定区域外 ・非常用発電機は1階に設置	
			H29取組状況	—	—	—		—	
			H30取組予定	—	—	—		—	